

6-1 機能性の高い都市空間の形成

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度
1	用途地域等の見直し	建設局 都市計画課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 大正14年度 【概要】新たな土地利用誘導の方向性の検討のほか、土地利用の動向、公共施設の整備状況等を踏まえた用途地域の見直し等を行うとともに、地区計画等の都市計画制度を活用して、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりを行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・関係機関との協議、説明会・公聴会の開催、公告及び縦覧等	市単	[概算コスト] 24,455 (内訳) ・決算額 9,718 ・人件費 14,737 (1.86人)	[概算コスト] 29,060 (内訳) ・決算額 15,246 ・人件費 13,814 (1.76人)	[概算コスト] 81,920 (内訳) ・決算額 58,048 ・人件費 23,872 (3.07人)	[概算コスト] 49,644 (内訳) ・予算額 25,879 ・人件費 23,765 (3.07人)	用途地域等の見直し箇所数 (単位:件)	[目標値] 5 <達成率>	[目標値] 37 <達成率>	[目標値] 5 100.0%	計画的な土地利用の誘導	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 用途地域の見直しにより、土地利用の誘導を行い、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりを行うために必要な事業である。	
2	子どもまちづくり探検隊開催事業	建設局 都市計画課	イベント	○事業開始年度 平成13年度 【概要】夏休みの特別企画として、タウンウォッチングを行いながら、まちづくりの課題や魅力を探ることで、本市の将来を担う子どもたちに、まちづくりへの興味や関心を高めるきっかけをつくるものである。 【対象者】市内に住むか、通学する小学5・6年生、中学生 【具体的な活動内容】 ・バスに乗り、都市計画事業の見学など、本市のまちづくりに関係することを幅広く体験する。 費用負担: 無料、開催時期: 夏休み期間、 見学場所: 市内一円、開催回数: 年1回	市単	[概算コスト] 1,939 (内訳) ・決算額 354 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 2,008 (内訳) ・決算額 438 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 1,883 (内訳) ・決算額 328 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 2,294 (内訳) ・予算額 746 ・人件費 1,548 (0.20人)	参加者数 (単位:人)	[目標値] 120 <達成率> 96.7%	[目標値] 120 <達成率> 110.0%	[目標値] 120 <達成率> 101.7%	[目標値] 120 (単位:%)	「まちづくりの学習の参考になった」と回答した割合	[目標値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 <達成率> 98.0%	[目標値] 100 <達成率> 97.0%	[目標値] 100	A	B	見直し (理由) 子どもたちのまちづくりへの興味や関心を高めるために必要な事業であるが、グッズ配布や人件費などコストがかかっていることから、経費面での見直しを図るべきである。
3	地籍調査事業	建設局 道路管理課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成22年度 【概要】一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成することで、登記手続の簡素化を図る。 【対象者】地籍調査対象地区内の土地所有者 【具体的な活動内容】 ・平成22年度着手地区: 城山団地、伊敷団地の一部(0.99km <sup>2</sup> ) ・平成23年度着手地区: 伊敷団地の一部(0.09km <sup>2</sup> ) ・平成24年度着手地区: 伊敷団地の一部、千年団地(0.84km <sup>2</sup> ) ・平成25年度着手地区: 岡之原団地、緑ヶ丘団地(0.44km <sup>2</sup> ) ・平成26年度着手地区: さつま団地、せばる団地、田上・田上台地区(0.66km <sup>2</sup> )	県補助	[概算コスト] 53,811 (内訳) ・決算額 14,196 ・人件費 39,615 (5.00人)	[概算コスト] 62,851 (内訳) ・決算額 23,606 ・人件費 39,245 (5.00人)	[概算コスト] 58,950 (内訳) ・決算額 20,070 ・人件費 38,880 (5.00人)	[概算コスト] 69,026 (内訳) ・予算額 30,321 ・人件費 38,705 (5.00人)	調査実施面積 (単位:km <sup>2</sup> )	[目標値] 0.09 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.84 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.60 <達成率> 73.3%	[目標値] 0.66 (単位:km <sup>2</sup> )	調査完了面積	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 一筆ごとの土地について、所有者や境界に関する調査を行い、土地境界に係るトラブルの未然防止や土地の有効利用の促進などを図るために必要な事業である。
4	市道路敷登記整備事業	建設局 道路管理課	その他	○事業開始年度 平成8年度 【概要】市道区域の所有権を明確にするため、道路敷地の登記状況調査結果を踏まえ、登記が未処理のものについて、地権者と協議して、分筆・所有権移転等の所要の登記整備を実施する。 【対象者】市道区域内に土地を所有する土地所有者等 【具体的な活動内容】 ・市道の適正な財産管理を行うため、道路敷地の権原を取得(未登記箇所を解消)する。	市単	[概算コスト] 101,213 (内訳) ・決算額 77,444 ・人件費 23,769 (3.00人)	[概算コスト] 112,261 (内訳) ・決算額 88,714 ・人件費 23,547 (3.00人)	[概算コスト] 111,695 (内訳) ・決算額 88,367 ・人件費 23,328 (3.00人)	[概算コスト] 111,428 (内訳) ・予算額 88,205 ・人件費 23,223 (3.00人)	調査件数 (単位:件)	[目標値] 1,538 <達成率> 149.2%	[目標値] 1,538 <達成率> 98.4%	[目標値] 1,538 <達成率> 121.2%	[目標値] 1,538 (単位:件)	処理件数	[目標値] 950 <達成率> 151.1%	[目標値] 950 <達成率> 95.9%	[目標値] 950 <達成率> 109.7%	[目標値] 950	A	A	継続 (理由) 権原をめぐるトラブルの解消により、円滑な道路行政の遂行を図るため、必要な事業である。
5	地区計画等都市計画制度の活用	建設局 都市計画課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成11年度 【概要】新たな土地利用誘導の方向性の検討のほか、土地利用の動向、公共施設の整備状況等を踏まえた用途地域の見直し等を行うとともに、地区計画等の都市計画制度を活用して、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりを行う。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】 ・関係機関との協議、説明会・公聴会の開催、公告及び縦覧等	市単	[概算コスト] 14,492 (内訳) ・決算額 4,034 ・人件費 10,458 (1.32人)	[概算コスト] 17,954 (内訳) ・決算額 6,808 ・人件費 11,146 (1.42人)	[概算コスト] 27,548 (内訳) ・決算額 17,361 ・人件費 10,187 (1.31人)	[概算コスト] 17,881 (内訳) ・予算額 7,740 ・人件費 10,141 (1.31人)	地区計画等の決定箇所数 (単位:箇所)	[目標値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 (単位:箇所)	地区ごとの実情に応じた計画によるきめ細かなまちづくり	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 地区計画の策定は、地区の特性に応じたきめ細かなまちづくりを行うために必要な事業である。
6	市街地再開発促進事業	建設局 市街地まちづくり推進課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成3年度 【概要】地元の再開発の機運・熟度等に応じた段階的な指導・支援を行うことで、初期期における事業化へ向けた取組を促進する。 【対象者】再開発の相談を受けた地区の権利者等 【具体的な活動内容】 ・地元の再開発に対する機運・熟度等を勘案しながら事業化へ向けて段階的に指導・支援を行う。 職員による再開発勉強会 コーディネーター派遣 基本計画・推進計画等調査	市単	[概算コスト] 3,157 (内訳) ・決算額 780 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 3,554 (内訳) ・決算額 1,199 ・人件費 2,355 (0.30人)	[概算コスト] 5,064 (内訳) ・決算額 1,565 ・人件費 3,499 (0.45人)	[概算コスト] 11,521 (内訳) ・予算額 8,038 ・人件費 3,483 (0.45人)	地元主体の会議等の開催数 (単位:回)	[目標値] 4 <達成率> 125.0%	[目標値] 14 <達成率> 157.1%	[目標値] 12 <達成率> 258.3%	[目標値] 12	再開発等の事業化	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 地元の再開発の機運等に応じた段階的な指導・支援を行い、再開発の事業化へ向けた取組を促進するために必要な事業である。

6-1 機能性の高い都市空間の形成

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度
7	鹿児島中央駅周辺一体的まちづくり推進事業	建設局 市街地まちづくり推進課	市民参画	○事業開始年度 平成23年度 【概要】九州の南の交流拠点都市としてさらに発展していくため、鹿児島市の『陸の玄関』である鹿児島中央駅の周辺において、更なる個性と魅力あるまちづくりを継続的に推進する。 【対象者】中央駅周辺の通り会・商店街、大規模事業者等 【具体的な活動内容】 ・東口・西口地区が連携し、まちなかのにぎわいと回遊性の更なる向上を図るため、「まちづくりガイドライン」の策定やこれに基づく地元事業者等を主体とするまちづくり団体の組織化等の活動を支援する。	市単	[概算コスト] 11,372 (内訳) ・決算額 7,410 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 11,886 (内訳) ・決算額 7,569 ・人件費 4,317 (0.55人)	[概算コスト] 11,338 (内訳) ・決算額 7,061 ・人件費 4,277 (0.55人)	[概算コスト] 6,859 (内訳) ・予算額 2,214 ・人件費 4,645 (0.60人)	一体的まちづくり活動の開催回数 (単位:回)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 7 <達成率> 116.7%	[目標値] 18 [実績値] 19 <達成率> 105.6%	[目標値] 25 [実績値] 19 <達成率> 76.0%	来街者のまちづくり活動に対する認知度 (単位:%)	[目標値] 48 [実績値] 48 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	[目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) ※市民委員会評価報告書参照	
8	都市再生整備計画推進事業	建設局 市街地まちづくり推進課	その他	○事業開始年度 平成18年度 【概要】鹿児島市都心部地区及び鹿児島駅周辺地区都市再生整備計画に基づき実施される事業の進行管理、事業間の調整を行うとともに、国土交通省等との協議や庁内への情報提供等を行い、効果的な制度の活用を図る。 【対象者】庁内関係課 【具体的な活動内容】 ・都市再生整備計画の策定 H22年度 鹿児島市都心部地区、H25年度 鹿児島駅周辺地区 ・事業の進行管理・調整等 交付金申請手続き、事業進捗の把握、交付金活用に係る関係課との協議・検討、国土交通省等との協議等	市単	[概算コスト] 2,947 (内訳) ・決算額 332 ・人件費 2,615 (0.33人)	[概算コスト] 2,849 (内訳) ・決算額 259 ・人件費 2,590 (0.33人)	[概算コスト] 2,891 (内訳) ・決算額 325 ・人件費 2,566 (0.33人)	[概算コスト] 3,000 (内訳) ・予算額 445 ・人件費 2,555 (0.33人)	進行管理等を行う事業数 (単位:件)	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100.0%	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 19 <達成率> 67.9%	執行された事業数 (単位:件)	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100.0%	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 19 <達成率> 67.9%	A	A	継続 (理由) 計画に基づく事業の進行管理を行うとともに、効果的な制度の活用を図り、優良な財源を確保し、まちづくりの推進を図るため、必要な事業である。
9	土地区画整理事業の推進(谷山第二地区・谷山駅周辺地区)	建設局 谷山都市整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成9年度(谷山第二) 平成19年度(谷山駅周辺) 【概要】個性と魅力ある都市空間の創出のため、土地区画整理事業を推進する。 【対象者】区画整理施行区域内に土地、建物等を所有している権利者など 【具体的な活動内容】 (谷山第二) (谷山駅周辺) ・幹線道路等築造:18,086m ・建物移転:1,360棟 ・公園整備:5か所 ・幹線道路等築造:6,383m ・建物移転:537棟 ・公園整備:3か所	国・県補助	[概算コスト] 3,244,261 (内訳) ・決算額 3,079,621 ・人件費 164,640 (20.78人)	[概算コスト] 3,071,485 (内訳) ・決算額 2,908,383 ・人件費 163,102 (20.78人)	[概算コスト] 4,349,957 (内訳) ・決算額 4,163,566 ・人件費 186,391 (23.97人)	[概算コスト] 5,682,495 (内訳) ・予算額 5,510,954 ・人件費 171,541 (22.16人)	道路整備延長 (単位:m)	[目標値] 529.3 [実績値] 529.3 <達成率> 100.0%	[目標値] 716.5 [実績値] 716.5 <達成率> 100.0%	[目標値] 890.6 [実績値] 890.6 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,283 [実績値] 3,283 <達成率> 100.0%	道路整備延長(累計) (単位:m)	[目標値] 13,847.3 [実績値] 13,847.3 <達成率> 100.0%	[目標値] 14,563.8 [実績値] 14,563.8 <達成率> 100.0%	[目標値] 15,454.4 [実績値] 15,454.4 <達成率> 100.0%	[目標値] 18,737 [実績値] 18,737 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 計画的に土地区画整理事業を実施することにより、良好な居住環境が形成されるため、必要な事業である。
10	谷山地区連続立体交差事業	建設局 谷山都市整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成19年度 【概要】個性と魅力ある都市空間の創出のため、連続立体交差事業を実施する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・鉄道高架化による踏切除却(15か所) ・工事区間:3,140m 高架化区間:2,725m	国補助	[概算コスト] 1,091,480 (内訳) ・決算額 1,065,334 ・人件費 26,146 (3.30人)	[概算コスト] 1,849,988 (内訳) ・決算額 1,824,086 ・人件費 25,902 (3.30人)	[概算コスト] 3,319,298 (内訳) ・決算額 3,293,637 ・人件費 25,661 (3.30人)	[概算コスト] 3,064,302 (内訳) ・予算額 3,038,757 ・人件費 25,545 (3.30人)	高架化構造物設置工事の整備延長(累計) (単位:m)	[目標値] 32 [実績値] 32 <達成率> 100.0%	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100.0%	[目標値] 713 [実績値] 713 <達成率> 100.0%	[目標値] 2,725 [実績値] 2,725 <達成率> 100.0%	踏切除却数 (単位:箇所)	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	[目標値] 15 [実績値] 15 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 踏切除却による交通渋滞及び踏切事故の解消を図るなど、谷山地区における都市生活の安全性・快適性の向上に資するため、必要な事業である。
11	かごしま水族館の利用促進	建設局 管理課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成9年度 【概要】かごしま水族館のイベントの実施など、更なる利用促進を図りながら、管理運営を行う。 【対象者】施設利用者 【具体的な活動内容】 ・「黒潮浪漫海道」をメインテーマに、黒潮のたどる南西諸島や鹿児島島の海に暮らす魚たちを、多彩な水槽で紹介する。	市単	[概算コスト] 697,202 (内訳) ・決算額 696,568 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 707,813 (内訳) ・決算額 707,185 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 718,878 (内訳) ・決算額 718,256 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 738,695 (内訳) ・予算額 738,076 ・人件費 619 (0.08人)	開館日数 (単位:日)	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	入館者数 (単位:人)	[目標値] 690,000 [実績値] 687,810 <達成率> 99.7%	[目標値] 692,000 [実績値] 652,382 <達成率> 94.3%	[目標値] 690,000 [実績値] 641,948 <達成率> 93.0%	[目標値] 670,000 [実績値] 670,000 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 市民の余暇の活用や本市の観光振興に資するため必要な事業であるが、入館者数が減少していることから、魅力あるイベントの創出や広報周知の充実など、さらなる入館者増に取り組むべきである。
12	次世代へつなぐ景観誘導事業	建設局 都市景観課	その他	○事業開始年度 平成21年度 【概要】愛着と誇りを持てる景観形成を推進するため、景観法、景観計画等に基づき景観誘導を図るとともに、景観形成重点地区候補地における地区独自の景観形成基準等の設定、景観重要公共施設の指定などを行う。 【対象者】市民・事業者・行政 【具体的な活動内容】 ・景観法に基づく届出等の審査 ・景観重要建築物・樹木の指定(H26.3:建築物1件を追加指定) ・景観形成重点地区の指定(H25.10:八重の棚田、H26.4:磯を指定) ・景観重要公共施設の指定(八重の棚田、磯の公共施設を指定) ・景観審議会の開催(H23:1回、H24:2回、H25:6回)	市単	[概算コスト] 3,902 (内訳) ・決算額 1,313 ・人件費 2,589 (0.33人)	[概算コスト] 5,755 (内訳) ・決算額 1,248 ・人件費 4,507 (0.57人)	[概算コスト] 15,309 (内訳) ・決算額 3,404 ・人件費 11,905 (1.53人)	[概算コスト] 6,416 (内訳) ・予算額 1,864 ・人件費 4,552 (0.59人)	景観法に基づく届出等の件数 (単位:件)	[目標値] 285 [実績値] 277 <達成率> 97.2%	[目標値] 277 [実績値] 301 <達成率> 108.7%	[目標値] 301 [実績値] 231 <達成率> 76.7%	[目標値] 231 [実績値] 231 <達成率> 100.0%	良好な景観の保全及び更なる良好な景観形成	[目標値] 231 [実績値] 231 <達成率> 100.0%	[目標値] 231 [実績値] 231 <達成率> 100.0%	[目標値] 231 [実績値] 231 <達成率> 100.0%	[目標値] 231 [実績値] 231 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※市民委員会評価報告書参照

6-1 機能性の高い都市空間の形成

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度
13	屋外広告物による景観まちづくり事業	建設局 都市景観課	監視・規制	○事業開始年度 平成8年度  【概要】 屋外広告物の規制、誘導を図ることにより、景観に配慮したまちづくりを推進する。 【対象者】 屋外広告物設置者等 【具体的な活動内容】 ・屋外広告物の許可、届出 ・屋外広告物の登録、特例屋外広告物の届出 ・違反広告物対策(簡易除却、未申請物件の指導) ・公共掲示板、はり紙専用広告塔の維持、管理、利用募集 ・屋外広告物審議会の開催	市単	[概算コスト] 34,780 (内訳) ・決算額 18,934 ・人件費 15,846 (2.00人)	[概算コスト] 30,357 (内訳) ・決算額 14,659 ・人件費 15,698 (2.00人)	[概算コスト] 29,056 (内訳) ・決算額 13,504 ・人件費 15,552 (2.00人)	[概算コスト] 31,464 (内訳) ・予算額 15,982 ・人件費 15,482 (2.00人)	簡易除却実施回数 (単位:回)	[目標値] 142 [実績値] 141 <達成率> 99.3%	[目標値] 141 [実績値] 130 <達成率> 92.2%	[目標値] 130 [実績値] 163 <達成率> 125.4%	[目標値] 163 [実績値] 163 <達成率> 100.0%	簡易除却件数 (単位:件)	[目標値] 13,748 [実績値] 7,647 <達成率> 55.6%	[目標値] 7,647 [実績値] 12,177 <達成率> 159.2%	[目標値] 12,177 [実績値] 11,658 <達成率> 95.7%	[目標値] 11,658 [実績値] 11,658 <達成率> 100.0%	A	A	継続  (理由) 景観に配慮した屋外広告物の規制、誘導を図ることにより、良好な景観の形成に寄与することから、必要な事業である。
14	ブルースカイ計画事業	建設局 道路建設課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成4年度  【概要】 安全で快適な歩行者空間の確保、都市景観の向上等を図るため、電線類の地中化を行う。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 ・電線管理者等との合意の得られた路線について、歩道等の地下空間に電気や通信などの事業者のケーブルを収容し、電柱・電線を撤去して電線類の地中化を行う。	国補助	[概算コスト] 95,575 (内訳) ・決算額 91,297 ・人件費 4,278 (0.54人)	[概算コスト] 234,052 (内訳) ・決算額 226,046 ・人件費 8,006 (1.02人)	[概算コスト] 335,108 (内訳) ・決算額 327,176 ・人件費 7,932 (1.02人)	[概算コスト] 302,057 (内訳) ・予算額 294,161 ・人件費 7,896 (1.02人)	整備管路延長(累計) (単位:m)	[目標値] 18,346 [実績値] 15,766 <達成率> 85.9%	[目標値] 18,346 [実績値] 16,186 <達成率> 88.2%	[目標値] 18,346 [実績値] 17,346 <達成率> 94.5%	[目標値] 18,346 [実績値] 18,346 <達成率> 100.0%	安全で快適な歩行者空間の確保	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続  (理由) 電柱等の倒壊による都市災害を防止し、都市景観の向上を図るため、必要な事業である。 なお、主要路線の無電柱化は進んでいることから、推進にあたっては、必要性や費用対効果をさらに検討すること。
15	環境に配慮したイルミネーション事業	建設局 都市景観課	その他	○事業開始年度 平成4年度  【概要】 環境に配慮したLEDのイルミネーションにより「魅力ある夜の景観」を創出し、冬季における観光客の誘致を図る。 【対象者】 一般市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・みなと大通り公園:64本のケヤキに約10万球を設置 ・鹿児島中央駅前広場:6本の樹木に約1万球を設置 ・実施期間:12月1日～翌年1月31日 ・点灯時間:18時～22時(12/24,31は翌0:15まで)	市単	[概算コスト] 20,461 (内訳) ・決算額 18,480 ・人件費 1,981 (0.25人)	[概算コスト] 20,337 (内訳) ・決算額 18,375 ・人件費 1,962 (0.25人)	[概算コスト] 20,319 (内訳) ・決算額 18,375 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 23,495 (内訳) ・予算額 21,560 ・人件費 1,935 (0.25人)	イルミネーションの点灯回数 (単位:日)	[目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100.0%	[目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100.0%	[目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100.0%	[目標値] 62 [実績値] 62 <達成率> 100.0%	魅力ある景観の創出	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続  (理由) 環境に配慮したイルミネーションにより、魅力ある景観の創出が図られるとともに、冬季における観光客の誘致や夜の回遊性に寄与するため、必要な事業である。
16	地域景観掘り起こし事業	建設局 都市景観課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度  【概要】 景観形成に対する市民意識の高揚を図るためのソフト施策を実施する。 【対象者】 市民、事業者、各種団体 【具体的な活動内容】 ・景観アドバイザーの派遣 ・住民主体の景観まちづくり実務経験者を講師とする勉強会の開催 ・小学生等を対象とした景観まちづくり学習の開催 ・景観写真パネル展の開催 ・景観写真コンテスト(隔年)、景観まちづくり賞(隔年)	市単	[概算コスト] 4,408 (内訳) ・決算額 446 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 7,275 (内訳) ・決算額 2,723 ・人件費 4,552 (0.58人)	[概算コスト] 5,527 (内訳) ・決算額 1,639 ・人件費 3,888 (0.50人)	[概算コスト] 7,878 (内訳) ・予算額 3,388 ・人件費 4,490 (0.58人)	景観アドバイザーの派遣回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	参加人数 (単位:人)	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	A	B	見直し  (理由) 市民の景観に対する意識の高揚を図るために必要な事業であるが、景観まちづくり学習の事業効果を把握できるようなアンケート等を実施するとともに、景観アドバイザーがさらに活用されるよう広報周知策を工夫すべきである。